

嘉麻市社協だより

えがお

発行日 2010.11.1

No.57

僕たちが作った
お米ばい

～碓井小学校5年生
初めての収穫～

発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

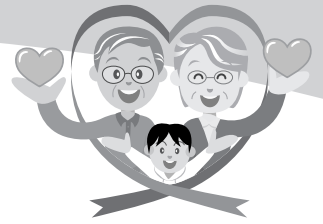
TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

広げよう!「顔」が見える関係づくり

地域福祉部
紹介
no.7

樋渡行政区地域福祉部



樋渡行政区は飯塚市に隣接しており、およそ150世帯の方が生活しています。

区内の小学生15名は、稲築西小学校まで距離があるため、その多くがバス通学をしています。同行行政区地域福祉部は、子どもたちがバス停まで安全に通えるように、朝のあいさつ運動に取り組んでいます。また、月に一度一人暮らし高齢者宅への訪問、見守り活動も行

っています。

地域福祉部のメンバーは、日頃からの活動を通じて、

家から出る機会の少ない高齢者が増えていることを感じ、地域の中に気軽に集まることができる場所を作りたいと、昨年からふれあい・いきいきサロンを始めました。最初は何を準備すれば良いのか、どのような内容にすればみんなが楽しく過ごせるのかなど、戸惑いや不安が大きかった

そうですが、他のサロンの見学や話を聞くなど、樋渡らしいサロンにすることを心がけたそうです。

サロンは3か月に1度のペースでこれまで3回開催され、毎回10名前後の方がお茶を飲みながらのoshya

べりや映画鑑賞などで、楽しく過ごされています。

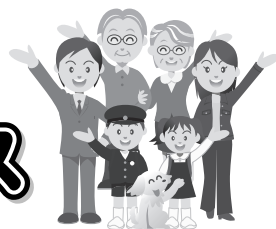
福祉推進員の大谷直美さんは、「これからたくさんの方が参加し、楽しい時間を過ごせるように、協力者をもっと増やしていきたいですね。」と今後の取り組みを語ります。

また同地域福祉部には、子どもたちも含めた、世代間の交流ができるサロンにして、子どもをみんなで見守り、育てていける地域にしていきたいという目標があります。その実現に向けて、メンバーからは様々なアイデアが出されており、同地域福祉部のこれからの取り組みが楽しみです。

本会では、「助け合い、支えあえる地域づくり」を推進するため、市内全域へ地域福祉部を設置することを目指しています。この活動について、「もっと詳しく知りたい」「行政区の会合で説明してほしい」等の要望やご意見がありましたら、ご連絡ください。

嘉麻市社会福祉協議会 電話0948-42-0751





実る稲穂にあふれる笑顔

10月7日(木)、碓井小学校の5年生による稲刈り作業が行われました。

これは、「食べ物の大切さを理解して欲しい」という目的で、地元で農業を営む坂田雅量^{まさひろ}さんの指導の下、今年度初めて学校行事として取り組まれたものです。

児童38人は、学校近くの休耕田の草刈りや肥料まきを行い、「田んぼづくり」から取り組みました。

また、苗は、地域の農家から種をもらって育て上げましたが、あまりの立派さに坂田さんも驚いたそうです。

6月の田植えももちろん、児童たちで行いました。ぬかるんだ田んぼに最初は戸惑



いを見せていましたが、先生の合図の笛で一斉に真剣な表情に早変わり。

田植え綱に沿って丁寧に植えていきました。

子どもたちが稲の世話をできない夏休み期間中は、坂田さんが肥料まきや草取りを行い、猛暑を乗り越えた稲には、たくさんの黄金色の稲穂が実りました。

いよいよ、稲刈り

当日。鎌を片手に児童たちは「1本も無駄にしないように」と自分たちの手で育てた稲に、格別の思いを抱いているようで、1本1本、



愛情を込めて刈りつつしていきます。

すべてが初めてのことという児童は、「米作りがこんなに大変だとは思いませんでした。がんばって作ったお米を食べるのが楽しみです。」と目を

輝かせ、担任の樋口先生も「子どもたちは、作業を重ねるごとに稲の成長に対する興味が深くなり、どの子も無我夢中で取り組んでいました。」とその頑張りを認めます。

また、最初から最後まで子どもたちと一緒に作業をした坂田さんは、「何よりも、あの子たちのいきいきとした表情がみられたことをとてもうれしく思います。この行事は、私だけでなく、地域のたくさんの方の協力もありました。そうした地域とのつながりを持てたことも良かったと思います。」と感想を話します。

廣末高志校長は、「子ども



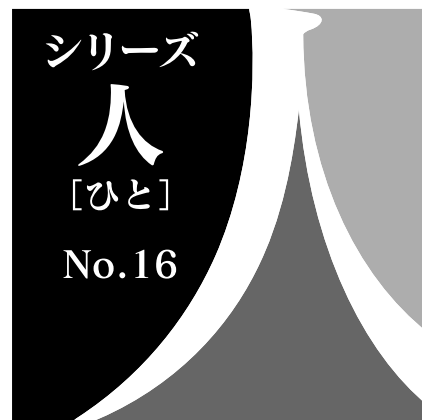
たちは、米作りの大変さや、自分たちを支援してくれる地域の方とのふれあいなど、教科書だけでは得られない体験を通しての学びができました。」と今回の学習の成果と、協力してくださった坂田さんをはじめ、地域の方々に感謝の気持ちを口にします。

きれいに刈りとられた田んぼの横には、坂田さんと碓井小学校5年生の田んぼです。通りかかったときはみてください。と記した、児童手作りの看板が建てられています。

その光景は、早くも来年の田植えを待ちわびているかのようでした。



子育て中のママだから できる



嘉麻市で今輝いている
「人」を紹介します。

坂本 さつきさん

下臼井西在住

今回ご紹介する坂本さつきさんは、子育てグループかまっぴの代表として、子育て情報紙「こども目線♥かまっぴ♥」の編集作業に取り組んでいます。「自分たちが欲しい情報を提供したい。」と話す坂本さんに、情報紙作りやグループの活動について話を伺いました。

坂本さんは、本会が昨年度実施した『子育て情報紙作り講座』を受講されました。受講後、学んだ知識を無駄にしないという同じ思いをもった7名で子育てグループかまっぴを結成し、情報紙作りに挑戦しました。当時、

長男の翔太郎君は10カ月で、育児が忙しい中、その合間をぬって、情報収集や編集作業を繰り返して、同紙を完成させました。今年度からは、編集作業を寄ってこハウス（漆生南部行政区）でするようにしたことで、メンバーが、子どもを連れて気軽に集えるようになりました。

ご自身の子育てでも、困ったことや不安になることがたくさんあったという坂本さんは、その解消につながる情報や、子ども連れで外出してみようと思える情報を提供できればと考えています。

また、同紙のイラストは、絵が得意な坂本さんが担当しています。「自分の特技が生かされて、とても嬉しいです。」と話す坂本さんが描くキャラクターかまっぴは、親しみやすくかわいいと好評で、同紙になくてはならないものとなっています。

坂本さんは、「みんなで集まり編集作業をしていると、母親だけでなく、子どもたちにも笑顔が生まれて、ほっとできる空間だなと感じます。毎回、新しい人の参加があり、本当に楽しく活動しています。」と居心地の良さを語ります。また、「時間がある時や、メールでの参加でも構いませんので、気軽に参加してほしい。」とさらなる参加を呼びかけています。

現在は、第4号（12月1日発行）の編集作業に取り組



でいます。同紙が子育て中の方や子ども達の笑顔につながればという思いが込められた第4号には、どんな情報に掲載されるのか、発行が楽しみです。なお、情報紙のバックナンバーは、嘉麻市社協のホームページからダウンロードできますので、ご覧ください。



寄ってこハウス情報

そば打ちで一足早い年越しを

～交流会にご参加ください～

今年2回目となる寄ってこハウス交流会を開催します。
今回は、そば打ちに挑戦して、一足早い年越しそばを味わいたいと思います。「一度、チャレンジしてみたい」という方、「子どもと一緒に体験してみたい」という方など、ぜひご参加ください。



- 【日 時】 平成22年12月18日(土) 午前9時～午後2時
- 【場 所】 寄ってこハウス(嘉麻市漆生878番地)
- 【内 容】 そば打ち体験、昼食会、ティータイム
- 【申込締切】 平成22年12月10日(金)
- 【申込・お問い合わせ先】 嘉麻市社会福祉協議会 電話0948-42-0751

あなたの力が地域の支えに

～地域支えあい事業協力会員募集中～



本会が実施している地域支えあい事業には、年末が近づくと、掃除に関する相談が増えてきます。掃除は一般の家庭においても大変ですが、本事業の利用会員である高齢の方や障がいのある方にとっては、自力ではなかなかできない部分があって、「せめて年末くらいは何とかしたい」との思いがあるのも事実です。

そこで、このような相談に対応できるよう、サービスを提供していただける協力会員を募集します。年末のみの活動でもかまいませんので、自分の力で、地域の支えあいの輪にぜひご参加ください。



- サービス内容に応じて、協力手数料をお支払いします。
- 特別な技術は必要ありません。ご自分の「できること」でご協力ください。
- 関心のある方、詳しい内容を知りたいという方はお気軽に下記までご連絡ください。

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
電話 0948-42-0751

かまボランティア 市民活動センター情報

2010年
11月

ボランティアさんに 聞きました

山本真也さん(大力在住)



活動を始めたきっかけを教えてください。

仕事が休みの時に何かできないかなと思い、ボランティアセンターに相談に行きました。「ボランティアの内容を確認してから、自分で選択できる」と聞いて、できる範囲で良いならと登録しました。

実際にどんな活動をしましたか？ また、その感想は？

赤い羽根共同募金の街頭募金やホームレスへの支援、施設の運動会、障がいのある子どもたちとの水中レクリエーションの補助等に参加しました。最初は、自分にできるのか不安だったのですが、大変さは感じなかったですね。むしろ、どの活動も楽しみながらできました。特に、水中レクリエーションでは、子どもたちのうれしそうな笑顔を間近に見ることができ、参加して本当に良かったなと思いました。

今後の抱負について、お聞かせください。

センターに登録していると、いろいろなボランティア活動を紹介してもらえるので、無理のない範囲で参加していきたいと思います。これからもいろいろな人との出会いを楽しみに、活動を続けていきたいです。

イベント情報

第10回 福岡県ねりんスポーツ・文化祭

第10回福岡県ねりんスポーツ・文化祭が開催されます。小さなお子様から高齢者の方まで楽しめるイベントが盛りだくさんです。ぜひご来場ください。

日 時 11月13日(土)10時～17時
14日(日)10時～16時

会 場 クローバープラザ(春日市原町3-1-7)

内 容 元プロ野球選手の衣笠祥雄^{さちお}さんによる記念講演、ねりんファッションショー、合唱フェスティバル、地元の名産品や模擬店が集まった「ふれあい広場」、親子で楽しめる「ふくすくキッズパーク」

問合せ先 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会
福岡県ねりんスポーツ・文化祭実行委員会事務局
電話 092-584-1401

福岡県立嘉穂特別支援学校アート展

～みんなの夢きらめいてⅢ～

県立嘉穂特別支援学校では、児童生徒の学習作品をイオン穂波店に展示します。

日 時 11月25日(木)～12月1日(水)
9時～21時
(最終日12月1日は15時まで)

会 場 イオン穂波店 1階ふれあい広場

展示内容 絵画、工作品

問合せ先 福岡県立嘉穂特別支援学校
電話 0948-42-1511

ふれあい千歳新聞

一番人気は、冬用乳幼児衣類

子育てリユースセンターには、みなさんから寄せられたいろいろな子育て用品があります。今の一番人気は乳児用衣類です。これからの寒さに備え、冬用の衣類を求めて来られる方が予測されますので、ご家庭で眠っている子ども服がありましたら、リユースにご協力ください。(特に、60～70cmの新生児用や80cmの女の子用が不足しています。)

また、センターにある用品は、日々変わっていますので、気軽にお立ち寄りください。

- センター開設日時 月～金曜日
(祝日・年末年始を除く) 8時30分～17時
- 問い合わせ 嘉麻市下臼井1050番地19
碓井千歳会館 TEL0948-62-3538



ふるさとの風景 ポストカード 好評販売中

嘉麻市の昔懐かしい風景をはがきにしたポストカード「ふるさとの風景」(4枚1セット/200円)が大変好評です。

ポストカードは、社協事務局(稲築住民センター内)の他、カツホー馬古屏でもお買い求めできます。



4枚1セット
200円

カツホー馬古屏

嘉麻市牛隈882番地1 ☎0948(57)2222
営業時間/午前8時30分～午後5時

12月の総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申込みください。

法律相談

と き: 12月2日(木) 13:00～16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス

と き: 12月16日(木) 13:00～16:00
と ころ: 稲築住民センター

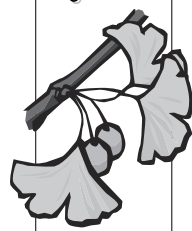
心配ごと相談

と き: 12月8日(水) 13:00～15:00
と ころ: 稲築住民センター

と き: 12月22日(水) 13:00～15:00
と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

9月16日～10月15日受付分

【漆生東】

親族 藤原 摩利子 様

故 藤原 正隆 様

【才田日吉】

親族 奥 正宏 様

故 奥 悦子 様

【漆生本村】

親族 吹坂 章子 様

故 吹坂 代楽 様

【漆生中央】

親族 中田 昇 様

故 中田 サカエ 様

【鴨生町】

親族 小迫 タミ子 様

故 小迫 輝雄 様

【宮地】

親族 奥村 千鶴 様

故 奥村 ゆり子 様

【下白井西】

親族 江口 美智子 様

故 高橋 ハマ子 様

【飯田】

親族 岡本 キミ子 様

故 岡本 善二 様

親族 橋口 志津子 様

故 橋口 秀一 様

【笹原】

親族 佐伯 福美 様

故 大野 ナエ 様

【三菱第二】

親族 壺坂 敏子 様

故 壺坂 慶典 様

【西馬見】

親族 縄田 智子 様

故 縄田 正孝 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】

山野第二 西村 優起 様

鴨生北町 服部 陽子 様

平第二 工藤 恵 様

漆生中央 横山 貴代美 様

漆生老松 増田 さと子 様

平山 奥 良子 様

南ヶ丘団地 石川 啓子 様

南ヶ丘団地 清水 愛味 様

飯塚市 福岡 美紀 様

【アルミ缶】

下白井東 匿 名 様

天神 島田 睦男 様

中央 明石 睦則 様

百々谷 吉元 悦子 様

牛隈北区 吉原 久美子 様

三日町 大村 隼人 様

セレモニーホールおおか様

【リングプル】

山野第一 匿 名 様

鴨生北町 山田 愛子 様

辻中籠行政区 様

中山山下 箕田 ヤヨイ 様

中山山下 藤田 涌子 様

熊ヶ畑第一 笹尾 五重 様

熊ヶ畑第二 樋口 蓮 様

熊ヶ畑第二 樋口 想 様

熊ヶ畑第二 樋口 陽樹 様

熊ヶ畑第二 山本 ヨシ子 様

中央 山崎 久美子 様

さくらが丘 岡田 拓哉 様

筑紫 原田 政子 様

筑紫 原田 政子 様

尾浦第一 木下 松江 様

尾浦第二 吉田 常人 様

木城 栗原 伊織 様

下白井東 匿 名 様

上西郷 有田 和也 様

下牛隈 小西 一美 様

下牛隈 小西 美佳子 様

牛隈北区 吉原 久美子 様

三日町 大村 美生 様

中益 福沢 和美 様

上山田郵便局 様

西尾谷えがお組 様

嘉穂つ子キッズ 様

嘉麻市保護課 様

初井電機商会 様

陶芸サークル 様

桂川町 中川 久美子 様

【古切手】

漆生本村 梅野 初子 様

山野第二 関 優依 様

辻中籠 永水 清子 様

熊ヶ畑第一 笹尾 五重 様

教育ナビゲーション(株) 様

初井電機商会 様

陶芸サークル 様

【使用済みテレカ】

西岩崎 野口 勇 様

筑紫 豊田 敏雄 様

中益 浦田 美香 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご
加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

9月16日～10月15日受付分

【個人会員】

〈漆生南部〉西森芙美子、室園

宏子、宇野洋子、宮崎美智子、

西岡聖、篠原信明

〈東岩崎〉西村恵美子、松崎弘枝

〈西岩崎〉右田伝、清家清江、

平川久枝、中野アケミ、永光

カツミ、宮崎昭子、高橋修、永

光正子、江野富子、前川洋子、

野口涼子、佐藤文男、河津英春、

大場勝、高原静男、西野千恵、

村川直、副島光生、池田保夫、

高嶋清香、松隈隆和、本田竹喜、

西野久威、木村一守、木村靖子、

有田タツ子、沖島万作子、伊

藤誠一、北原秀子、野見山幸子、

永田シゲ子、金丸浩、金丸フ

クヨ、松熊律枝、溝口光世、松

本ヒサ子、安信勲、福沢道子、

永光博文、繁木シズエ、永光

信子、永光初代、水口孝子、

金丸フジエ、溝口節子、井上八重子、野見山静子、松隈桜子、永野和則(二口)、香月アサ子(二口)、渡辺早苗(二口)、長岡カズ子(二口)

〈山野第二〉遠藤浩、星野福夫

〈平第二〉山崎ぬい子、村岡隆志、福井英子、佐藤一美(二口)、松本三枝子、大名秋子、大友就、佐藤典子、福田肇、宮本敏夫、中島吉則、大山征男、山本康治、西村光昭、竹村恵美子、清川栄、大和宗嗣、東川嘉明、西田昇、松本政喜、武田憲児、西坂勝正、岩橋トシ子、生田キミ子、今村久子、加来良子、伊藤鉄子、梅本重信、渡辺富美子、桐原理枝、松本芳明、宮内佐恵子、草場ミチ子、平田正人、坂田公一、西田安之助、西田雅範、坂田清子、手島ミヤノ、岩崎哲夫、山平由美

〈緑ヶ丘〉秋丸幸男、林田常彦、高尾節治、鳥居保夫、白川ヨシ子、小野國枝、大辺美喜男、金川智裕、清嶋巖、浅田一義、勝本サダメ、滝石哲男、山下繁博、入江恵子、和智ヤヨイ、山際峯子、石川由彦、渡部浄子、坂川隆、矢野正則、小森一夫、氷室計介、戸田量夫、檀山百合子、高島国臣、岡田國男、松永ユキヨ、鳥居孝行、津口ヤエノ、堀内信孝、熊野忠明

〈漆生中央〉松田茂(二口)

〈飯田〉丸田シツ子

〈平山〉實藤仁美

〈中山田下〉藤田幸森、藤田涌子、大森成順、大久保慶夕、深水冷子、下川開、高原春喜、嶋田昇、柴田博美、加藤泰二、吉永敏嗣、吉永静子、岸本美代子

〈下宮〉實藤幸三、山藤やす子、大里一男

〈石ヶ崎〉丸山みさ

〈百々谷〉阿部久代、石井春美、福井政子、吉村英雄、高見敬次、川上アイ子、大田シズ子、渋谷香、長谷川はるみ、尾木八重子、稲富静代

〈夕日ヶ丘〉坂口アキヨ、竹田辰夫、山原かをる、塚原久美子、福田フジコ、森友光子

〈西川〉山口とも子

〈木城〉樋口えり子、中田盛樹、坂口豊子、竹中ミツ子

〈下牛隈〉武田百合子、内村直美

〈上〉熊本さよ子

〈中益〉日永田絹江

〈下益〉真次美恵子

【団体会員】

〈新山野〉2組(二口)、3組(二口)、5組(二口)、6組(二口)、8組(二口)、9組(二口)、10組(二口)、11組(二口)、14組(二口)、18組(二口)、19組(二口)

【法人会員】

〈西岩崎〉松隈写真館



嘉麻市社会福祉協議会指定 葬祭場紹介

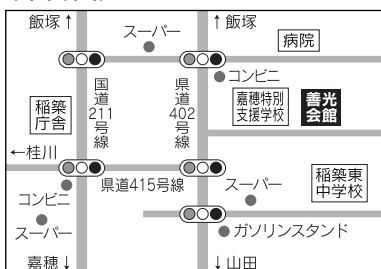
善光会館 稲築会場

嘉麻市鴨生277-17
☎(0948)83-5000

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



〔案内図〕



知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 no.42



今回ご回答頂くのは…

善光会館
稲築会場
大津 進さん

Q 喪主はどのように決めたらいいですか？

A 喪主は、必ずこの人が務めなければならないという約束事は有りません。ご家族で協議された上で決めれば問題はないと思います。
一般的には、故人の配偶者、長男、長女という順で可能な方が喪主を務められることが多いようです。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、善光会館 稲築会場を含め、市内に8カ所あります。

おかむら葬祭岡村会館……………☎42-4420
飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241
きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎62-4499
ひさつね会館……………☎52-0758

いすや会館……………☎57-4444
セレモニーホールおおつか……………☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館……………☎62-5566

「故郷への応援詩」

私が故郷を離れて間もなく40年になろうとしています。私は昭和27年に稲築町漆生で生まれ育ち、岩崎小学校、稲築中学校、そして稲築高校を卒業後、1年間北九州の予備校を経て、東京で学生時代を過ごした後に就職。日本勤務からスタートし、タイに2回計8年半、米国に2年、そして2008年より英国勤務と海外生活も現在12年半になりました。母と弟は山野、妻子は奈良に住んでいて、私は現在4度目の単身赴任中であるもの、今住んでいる英国北西部では美味しい日本米の入手が困難でポテトが主食——これがずっとした私の足跡並びに近況です。

「仰げば関の山晴れて——」これが岩崎小学校の校歌の始まりで、同時に私が物心ついたシンボルとして記憶もここから始まります。小さい頃からとにかく良く遊びました。糸の先を丸めて小川でのザリガニやピキタン（今で言うカエル）とりに始まり、少し大きくなると炭鉱の洗炭場に行き、ジョウゴ状の設備の頂上から螺旋状に走って下に落ちるまで何周出来るか？を競ったり、ボタ山に芋を埋めて焼き芋を作ったり親に内緒でとんでもない遊びをしたものです。

そして中学時代には、仲間と古処山へ山登りに行き、頂上から見た嘉穂盆地や西側の甘木の町々の景色の素晴らしさは今でも鮮明に記憶に残っています。ただ、6月に三井山野鉱の事故が発生し、翌日学校で沢山の友達のお父さんが犠牲となった時の悲しさ、悔しさ、更には中学校卒業時に半数の友達が集団就職で関西・関東へ出発の際に飯塚駅へ見送りに行った事等々は、筑豊地方の宿命として鮮明に私の心に突き刺さっています。

一方、2年前英国に転勤になり、ノースウエールズのレクサムという町で仕事をしていますが、日本から18時間もかかりますからやはり遠いんですよね。ただこは、何と昔は炭鉱の町で最盛期は3000人以上の人が働いていたそうです。昭和41年に閉山し、個人的にも大変な感慨を持って毎日を過ごしています。

私も含め沢山の人が長く故郷を離れており、そういった仲間はより以上に望郷の念が強いものです。時々ふっとした瞬間に皆が故郷のことや近所のおいちゃん、おばちゃんの顔を思い出し、みなさんが私たちに元気を与えてくれています。

筑豊の方々は恥ずかしがりやだが、さっぱりした気性で付き合いを始めるのと相手を大切に思い、とことん尽くす。私にとっては全てが良しと思える故郷嘉麻市。どうか嘉麻市の皆さん、自信と誇りを持って心豊かに過ごして下さい。西の果て英国より強く願っています。



イギリス在住
五十嵐 昇さん(58歳)
漆生出身

市民のみなさんと共に 福祉のまちづくりを推進していくために

嘉麻市社会福祉協議会は、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくため、毎年度会員の募集を行っています。

本会の活動に賛同して納めていただいた会員会費は、地域福祉充実のための活動や、新たな福祉課題に対応するための先駆的事業等の財源として活用させていただきます。ぜひ、ご理解いただきまして、福祉のまちづくりに会員としてご参加ください。



■会員の種別と金額 一般会員 1口 1,000円／年額 法人・団体会員 1口 3,000円／年額

お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。

まずは、嘉麻市社会福祉協議会 (TEL 0948-42-0751) までご連絡ください。

左の写真は、現在の日吉峠付近にあった共同石炭鉱業株式会社日吉炭鉱の選炭場を写したものです。

ここでは、約10名の女性が採掘された石炭を洗って不純物を取り除き、品質や大きさごとに分類する作業を行っていました。

選炭されたものは、トロッコで大隈駅（現在の牛隈交通公園）へと運ばれ、そこから汽車で若松へと輸送されていました。

この選炭場の近くには、銭湯もあり、鉱内から上がってきた人達の癒しの場として、賑わっていたそうです。

(写真提供：加来久敏さん)

